

# Cutting Edge

第70期 事業のご報告

平成20年4月1日～平成21年3月31日

証券コード：6146



**DISCO**

Kiru・Kezuru・Migaku Technologies

DISCOの  
新たな出発に  
ご期待下さい。

## Contents 目次

- P1 株主の皆様へ
- P2 財務ハイライト
- P3 インタビュー／新社長に聞く  
代表取締役社長 関家 一馬
- P5 トピックス

### 厳しい事業環境を乗り越え、 世代交代により次の躍進に備えます。

2009年3月期の世界経済は、昨年9月の米国大手金融機関の破綻以降、景気の後退に拍車がかかり、個人消費の低迷や生産活動の大幅な縮小など、実体経済の悪化が急速に進みました。

半導体業界では、第1四半期においては新興国の需要に下支えされ、高水準な出荷を継続しましたが、第2四半期後半に入ると新規設備投資に消極的な動きが出てまいりました。第3四半期以降は最終製品需要が急落し、市場全体の在庫が大きく積み上がる結果となりました。

当社グループの業績につきましては、上期では精密加工装置の出荷が徐々に減少しましたが、消耗品である精密加工ツールは比較的堅調に推移しました。下期に入り、設備投資の凍結や大規模な生産調整により、売上高は2001年のITバブル崩壊時以来の大幅な落ち込みとなりました。

これらの結果、連結売上高は前年比42.0%減の531億8百万円、営業利益は同99.6%減の76百万円となりました。

今後も経済のマイナス成長が予測され、厳しい事業環境が続くものと考えられますが、逆境の中でも更なる進化を目指してまいります。

本年4月より、これまで常務取締役として事業運営をしてきた関家一馬が代表取締役社長に就任し、当社ミッションの実現およびステークホルダとの価値交換性の向上を図ってまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

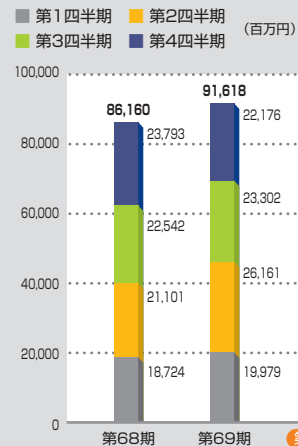
2009年6月  
代表取締役会長  
溝呂木 斉



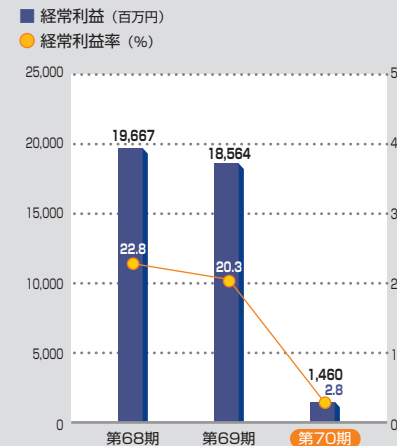
代表取締役会長  
溝呂木 斉

代表取締役社長  
関家 一馬

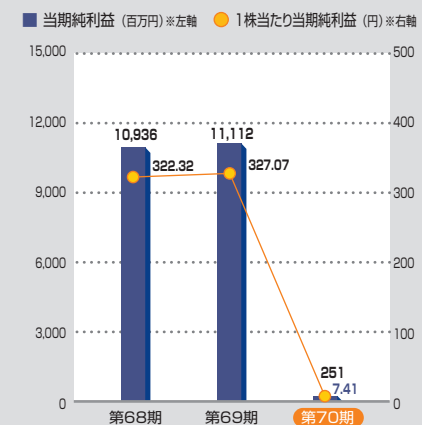
### 売上高



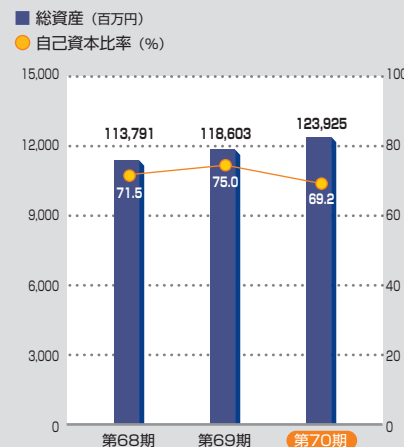
### 経常利益・経常利益率



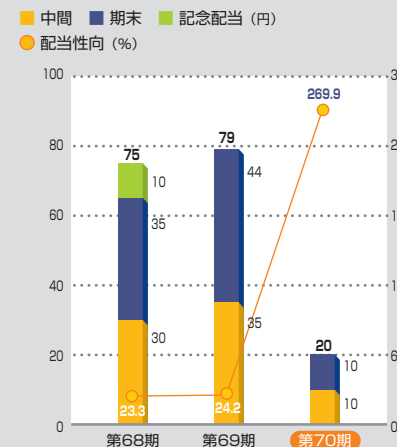
### 当期純利益・1株当たり当期純利益



### 総資産・自己資本比率



### 配当金・配当性向



### 資金調達について

不況が今後5年間継続した場合であっても安定して事業を運営できるよう、先行して資金調達をいたしました。社債の発行および銀行からの借入れにより、総額約270億円となります。

### 配当について

厳しい事業環境下での業績悪化を受け、業績連動ではなく安定配当を適用し、年間20円(中間配当10円、期末配当10円)の配当金とさせていただきます。

# Interview with the President

インタビュー / 新社長に聞く

**Q** 市場環境が厳しい中での、社長就任への考えをお聞かせ下さい。

**A** この厳しい時期をいかに有意義に過ごすかを考えることが大切です。

これまでも事業全体の責任を負ってきましたので、社長への就任にあたっては極端にプレッシャーが増すような心境の変化はありません。

現在の市場環境が厳しいのは事実ではありますが、変化の激しい半導体業界においては、景気の循環に耐えうる強い企業体質をつくるのが特に大切だと思います。目先の不景気をしのぐというよりも、次の成長機会に備え、今をいかに有意義に過ごすかということを一に考えています。



**Q** この不況を乗り切るためにどのような取り組みを行っていますか。

**A** 未来を犠牲にしない経費コントロールを行います。

景気の循環に翻弄されない企業体質を構築していきたいと考えています。過去数年間は好景気に支えられ、売上高が伸びてきたため、その時のお金の使い方や仕事の仕方が当たり前となってしまっています。好況で忙しい時期は、納期を遵守するために時間をお金で買うようなことも必要ですが、今はお金をなるべく使わず、いかに社内にある経営資源で対応するかに知恵をしぼることが大切だと思います。こういった企業体質が定着すれば、好不況にかかわらず、変化に柔軟に対応できるようになると考えています。

研究開発費についてはある程度しぼることも検討していますが、長期的な視野を持った戦略的な資金投入と、キャッシュアウトを伴わないやり方での研究開発を、並行して実現したいと考えています。

これまでは実質的に無借金経営を続けてきましたが、今回約270億円の資金調達を行いました。これは仮に5年間不況が続いたとしても、経営が行き詰まらないことを想定した上での金額です。このように、「未来を犠牲にしない」ということを第一に考えながら、経費の抑制に努めてまいります。

**Q** 今後の見通しについてお聞かせ下さい。

**A** 今後も半導体市場は必ず伸びていくと考えています。

PCや携帯電話など従来のデジタル製品に加え、LEDやハイブリッド自動車、インバータエアコンなど、環境負荷を低減する製品の普及が進むことにより、半導体の需要は今後も間違いなく増加していくものと考えています。こういった製品の高機能化に合わせ、半導体の技術革新は現在も絶え間なく続いています。我々のお客様である半導体メーカーからのテストカット依頼数は依然として高水準で推移しています。この事実が、ディスコの技術が求められている証でもあり、今後の見通しの明るさにもつながると思います。

**Q** ディスコが期待している成長分野は何でしょうか。

**A** レーザ、薄化、TSV技術などに期待しています。

2001年に製品化したレーザーソーが、売上台数、用途ともに拡大を続けており、今後も期待できる分野だと思います。LEDやMEMS\*等、需要増加が期待される製品に適應する装置ラインナップも拡充しており、現在も開発に力を入れています。また、3次元パッケージ向けに適用が進むTSV(Si貫通電極)に対応する技術や、チップの薄化に関連する研削・洗浄プロセスも、引き続き有望な市場とみています。他社ではできないソリューションを提供し続けるために、今後も高度化する技術への研究開発に努めます。

\*MEMS : Micro Electro Mechanical Systemsの略

## ● 不況への取り組み

### 1 工場新棟建設計画の見直し

<桑畑工場>  
福利厚生施設の建設先延ばしによるコストダウンを実施

<茅野工場>  
建設を一時中断  
(再開時期は市況をみて改めて判断)

### 2 経費管理Fレベル実施

2008年10月に、経費管理レベル<sup>\*1</sup>をF<sup>\*2</sup>に変更

<sup>\*1</sup> 売上高経常利益率に連動し、A~Fまで6段階に経費支出のガイドラインを設定しています

<sup>\*2</sup> レベルFでは、お客様への製品・サービスの提供に直接関係がある経費以外の支出を徹底的に見直します

### 3 人件費の抑制

◎役員報酬・賞与および管理職の給与を減額  
(一定の業績回復時まで)

◎本社・広島事業所における一時帰休の実施  
(帰休日には給与の9割を支給)

◎残業を0に規制<sup>ゼロ</sup>  
(一定の業績回復時まで)



### BCMS※1規格の認証を取得

ディスコは2008年12月17日に、国内半導体業界では初(認証機関SGSジャパン株式会社調べ)となるBCMS規格「BS25999-2:2007※2」の認証を取得しました。お客様に安定して製品を供給できる体制の構築に今後も注力してまいります。



※1 BCMS:事業継続マネジメントシステム(Business Continuity Management System)  
 ※2 「BS25999-2:2007」:企業の事業継続に対する潜在的脅威が現実となっても、事業を継続させて早期復旧を図ることを目的とした規格

### インテルよりSCQI賞※を9年連続で受賞

ディスコは2009年3月5日に、インテルコーポレーション様より2008年度SCQI賞を受賞しました。今回で9年連続の受賞となります。

全社一丸となってお客様からの高い要求に添えていくことで、継続的なパフォーマンス向上に努めていきます。



9年連続受賞したSCQI賞のトロフィー

※ SCQI賞(Supplier Continuous Quality Improvement):インテルの成功に貢献した製品とサービスの供給において、卓越した品質と業績を達成した企業に贈られる賞

### 「働きがいのある会社」ベスト25※に入選

「従業員が会社・経営者を信頼し、自分の仕事に誇りを持てるかどうか」についての調査において、ディスコは『2009日本の「働きがいのある会社」』ベスト25に選出されました。

※ GPTWJ(Great Place to Work® Institute Japan)が国内77社を対象に実施

#### 2009日本の「働きがいのある会社」ベスト25

1	モルガン・スタンレー	10	キッコーマン	11	野村総合研究所
2	リクルートエージェント	11	アイ・ティ・フロンティア	11	堀場製作所
3	マイクロソフト	11	アルバック	11	マルホ
4	ワークスアプリケーションズ	11	SAPジャパン	11	三井住友銀行
5	アメリカン・エキスプレス・インターナショナル	11	カゴメ	11	明光ネットワークジャパン
6	インテル	11	サイバーエージェント	11	良品計画
7	日本イーライリリー	11	ディスコ	11	ロート製薬
8	アサヒビール	11	東京スター銀行		
9	東京海上日動システムズ	11	日本オラル		

※11位~25位間の順位は公表されておりません(五十音順)

### 全従業員へのパンデミック対策の徹底

ディスコでは豚インフルエンザの流行に対し「従業員とその家族から一人も感染者を出さない」「状況に応じた事業継続ができる体制を整える」ための対策を講じています。具体的には、感染拡大地域を訪問した者に7日間の在宅勤務を命じるほか、起床時の体温測定およびマスク着用などの徹底を行っています。これは今後発生しうる強毒性新型インフルエンザのパンデミック※を想定した演習も兼ねています。



従業員通用口でのマスク交換と手指消毒

※感染の爆発的拡大

## 「高度なKiru・Kezuru・Migaku技術によって 遠い科学を身近な快適につなぐ」

3つのコア技術を深めることで、ディスコは産業と人々の暮らしに貢献しています。

### ● 高度なKiru・Kezuru・Migaku技術とは...

「切る」「削る」「磨く」は、古代から脈々と培われてきた人類に欠かせない技術です。ディスコはこの普遍的な技術を深化させ、この技術領域における世界のオンリーワンでありたいと考えています。「Kiru」「Kezuru」「Migaku」とローマ字表記しているのは、ディスコの技術が世界標準となり、日本語でそのまま通用するようなレベルを目指すという思いが込められているからです。

### ● 遠い科学を身近な快適につなぐとは...

科学は日々進歩しています。しかしどれほど進歩しようともそれだけでは社会の進歩や人類の幸せに役立つとは限りません。ディスコの技術によってそんな「遠い科学」を人々の暮らしの豊かさや快適さに帰結させていきたいという思いを込めています。

### ● ディスコが追い求める成長とは...

企業の軸として据えた社会的使命に則り、あらゆるステークホルダーとの価値交換を通じ、長期にわたる成長ストーリーを発信し、これを実現していく。ディスコはそんな企業でありたいと考えています。

## “Cutting Edge” とは...

Cutting Edgeとは、辞書で引くと「刃の先端」という意味のほかに、「最先端」という意味があります。ディスコの「高度なKiru・Kezuru・Migaku技術によって遠い科学を身近な快適につなぐ」という企業ミッションをより深くご理解いただくために、常に最先端の技術を提供することを通じて、社会に積極的に貢献していきたいという願いをこのタイトルに込めました。

これからも、ディスコの最新の財務情報や技術情報の発信に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 会社概要 (2009年3月31日現在)

本社所在地	東京都大田区大森北二丁目13番11号
創業年月日	1937年5月5日
設立年月日	1940年3月2日
資本金	14,517百万円
従業員数	単体1,641名 連結2,438名
主な事業内容	精密加工装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 製造および販売</li> <li>→ メンテナンスサービス</li> <li>→ オペレーションやメンテナンスの研修サービス</li> <li>→ 解体リサイクル事業</li> <li>→ リースおよび中古品売買</li> </ul> 精密加工ツール <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 製造および販売</li> </ul> 精密部品の有償加工サービス
事業所	本社・R&Dセンター 広島事業所(呉工場、桑畑工場、長谷工場)
国内拠点	仙台支店、大阪支店、九州支店 信州営業所、名古屋営業所

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金	3月31日
受領株主確定日	3月31日
中間配当金	9月30日
受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111(通話料無料) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行う。 ただし、やむを得ない事由により電子公告ができないときは日本経済新聞に公告いたします。
証券コード	6146

## 役員 (2009年6月23日現在)

代表取締役会長	溝呂木 齊	常勤監査役	玉利 晋
代表取締役社長	関家 一馬		巳亦 力
常務取締役	関家 圭三		高柳 忠雄
取締役	関家 英之	監査役	浅海 芳久
	梶山 啓一		黒沼 忠彦
	田村 隆夫	執行役員	荒井 一尚
			吉永 晃

## 株式概要 (2009年3月31日現在)

上場市場	東京証券取引所 市場第一部(証券コード6146)
発行済株式総数	34,004,418株
株主数	14,018名
大株主	日本トラスティサービス信託銀行(株)[信託口、信託口4、信託口4G] : 4,283千株/12.60%
	日本マスタートラスト信託銀行(株)[信託口] : 2,240千株/6.59%
	(株)ダイイチ企業 : 1,998千株/5.88%
	(株)ダイイチホールディングス : 1,998千株/5.88%
	タイヨウ ファンド, エル. ピー. : 1,741千株/5.12%
	(株)OctagonLab : 1,704千株/5.01%
	関家 臣二 : 1,360千株/4.00%
	関家 憲一 : 944千株/2.78%
	ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505223 : 926千株/2.73%
	(株)オレンジコーラル : 846千株/2.49%

## ホームページのご案内



ホームページ  
『投資家情報』を  
ご覧下さい。

本冊子では紹介し  
きれなかった内容  
を掲載しています。

IRメール配信を  
行っています

最新のIRニュースなど  
をE-mailにてお知らせ  
しています。下記URL  
よりご登録下さい。

<http://www.disco.co.jp/jp/ir/index.html>

DISCO

Kiru・Kezuru・Migaku Technologies



株式会社 ディスコ

〒143-8580 東京都大田区大森北 2-13-11  
<http://www.disco.co.jp/>